

皆様の信頼に応える番組・コンテンツ制作のため、さらなる加速を

皆様におかれましては、平素よりテレビ東京グループに対して格別のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

2015年度のテレビ東京グループは、グループの中核であるテレビ東京、BSジャパンを中心に業績を伸ばし、2010年の設立後において過去最高の売り上げ、利益を達成いたしました。

番組・コンテンツ力の向上

テレビ東京は、年度を通じた視聴率は前年度に比べて低下したものの、年度後半は回復基調にあり、2016年度はこの流れに乗った番組改編でスタートを切りました。「テレ東らしさ」と呼ばれるオリジナリティに磨きをかけ、『家、ついて行ってイイですか?』が開局以来初となる日本民間放送連盟賞テレビエンターテインメント部門の最優秀賞を受賞するなど、コンテンツ力向上の成果が表れております。

BSジャパンは、ビジネスパーソンやシニア層をターゲットにした、独自性あふれる番組編成の成果が表れ、2015年度のBS全国視聴データではゴールデンタイムの番組が好成績を残しております。

ネット関連事業を中心とする通信分野の開拓

インターネット技術が進化する中で放送と通信の垣根は低くなり、コンテンツを流す

デジタルサービスも多様化しております。経済・報道番組専門の有料オンデマンド配信である「テレビ東京ビジネスオンデマンド」は3周年を迎え、会員数は5万人を突破し順調に成長しております。

放送後の一定期間、インターネットを通じて無料で番組を視聴できる「ネットもテレ東キャンペーン」は対象番組を増やしたほか、在京民放5局共同の見逃し視聴サービス「TVer(ティーバー)」を通じた広がりもあり新たな視聴者を獲得しております。

アジア市場を重視した国際戦略

国内市場が成熟化する中、番組や事業の国際化は不可欠であり、アニメ番組を中心としてインターネット配信やライセンスビジネスを海外企業と協力して展開しております。

中国では人気のアニメ番組を日本の放送直後からインターネット配信しており、2016年1月からは配信網を充実、多様化しております。これにより中国におけるテレビ東京のアニメファンを獲得してまいります。

テレビ東京グループは本年秋に本社オフィスを移転いたします。この移転を機に一段と創造性豊かな番組・コンテンツをお届けし、株主をはじめとしたステークホルダー、視聴者の皆様の信頼と期待に応えてまいりたいと存じます。引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社テレビ東京ホールディングス
株式会社テレビ東京
代表取締役社長

高橋雄一
Yuichi Takahashi